

目次

～花嫁のれん展でおもてなしを～ 七尾商店街連合会	1
平成17年度県商連・県振連 通常総会開催	2
山代温泉通り商店街振興組合から ～商店街活性化へのおさそい～	
県振連セミナーのご案内（商店街経営セミナー・商店街活性化セミナー）	3
石川県からのお知らせ ポストモデル商店街支援事業・中小企業支援制度講座の開催	
わが商店街（まち）のお宝物	4
近江町市場 走って宣伝（金沢市） ～明日の堅町を担う若き感性～（金沢市）	

編集発行 石川県商店街振興組合連合会
〒920-0918 金沢市尾山町9番13号(金沢商工会議所内)
TEL (076)222-8779 FAX (076)222-8779

県振連メールアドレス
isirengo@sky.hokuriku.ne.jp
商店街賑わい創出に関する掲載原稿、
ご意見、ご感想などお待ちしております！

印刷 株式会社 山越
〒920-8665 金沢市兼六元町3番78号
TEL (076)257-9111

本誌は環境保護のため再生紙を使用しています

～花嫁のれん展でおもてなしを～

当地の一本杉通り振興会は4月25日(月)から5月8日(日)にかけて「第2回花嫁のれん展」を開催し、多くの市民や観光客の目を楽しませた。花嫁のれんは加賀藩内に伝わる婚礼の習俗で、加賀友禅に家紋や絵柄をあしらったのれんを花嫁が持参し、仏間にかけて嫁入りするという旧くからの伝統である。

今年の「花嫁のれん展」は、46軒の店舗や住宅に去年の倍近くの75枚ののれんが展示され、商店主や家人が来訪客に思い出を語ったり、お茶を提供したりする等、それぞれがおもてなしの心で来訪客に接客していた。また、25日にのれん展開幕式を石灯設置の完成、石畳舗装の一部完成を記念して当地仙対橋周辺で行った。



4月29日(金)には、地元のカップルが挙式するに併せ、和服で商店街を歩く伝統行事「花嫁道中」を商店街役員が中心となって復活させた。当日は、あいにく小雨まじりではあったが、地元の若い衆の「木遣り」が唄われる中、一本杉通りをお披露目しながら歩いた。近辺の市民も大勢かけつけ、二人に祝福の言葉をかけていた。「花嫁のれん展」は商店街のおかみさんの会「オー・ゴッドの会」のメンバーを中心におもてなしの心を忘れずに継続していく予定である。

七尾商店街連合会

平成17年度

石川県商店街連合会

石川県商店街振興組合連合会

通常総会開催

石川県商店街連合会(県商連)と石川県商店街振興組合連合会(県振連)の平成17年度通常総会が去る5月17日(火)、金沢スカイホテルにおいて開催されました。

県商連の通常総会では山田会長の挨拶の後、山田会長が議長となり、議案審議が進められ16年度事業報告・収支決算報告、17年度事業計画(案)・収支予算(案)、役員補選について原案通り可決されました。その後、来賓の金沢商工会議所中小企業相談所長の高田永吉氏よりご祝辞をいただきました。



引き続き県振連の通常総会が開催され、山田理事長の挨拶の後、山田理事長が議長となり、議案審議が進められ16年度事業報告・収支決算報告、17年度事業計画(案)・収支予算(案)、役員補選について原案通り可決されました。最後に来賓の石川県商工労働部経営支援課長の福田涼一氏よりご祝辞をいただきました。

ここで、前任理事の方々のご苦勞に対し心よりお礼申し上げます。新役員の方は以下の通りです。

石川県商店街連合会

商店街連盟(連合会)名	新役員		前役員	
	役職	氏名	役職	氏名
小松商店会連盟	副会長	富岡加賀夫	副会長	伊藤唯司
七尾商店街連合会	理事	宮川晴行	理事	木下博安
輪島市商店街連合会	理事	坂下敏博	理事	大積善也
小松商店会連盟	理事	谷口保	理事	宮岸伸一郎
小松商店会連盟	理事	富沢清信	理事	西村健一

石川県商店街振興組合連合会

振興組合名	新役員		前役員	
	役職	氏名	役職	氏名
彦三商店街振興組合	理事	谷一則	理事	池野幸雄
三日市商店街振興組合	理事	角谷治男	理事	坂本啓章
七尾駅前通り商店街振興組合	理事	大岩利康	理事	濱暉元

事務局異動

眞舘英夫 去る3月30日をもって退任されました。6年余りにわたって県振連・県商連の事務局長として、商店街の振興・発展に寄与されました。

岡田信二 新任 よろしくお願ひします。

山代温泉通り商店街振興組合から ~商店街活性化へのおさそい~

- ◇7月2日(土) 3日(日) 加賀白山芸能「加賀白山おったから祭り」
6月4・5日、盛大に行われた「菖蒲湯まつり」をしのぐお祭りが開催される。見抜き通りを歩行者天国にし、獅子舞や太鼓・踊りなどの郷土芸能を競演、各地の物産品や郷土料理など地域のお宝が披露される。
- ◇8月20日(土) 21日(日) 「夏祭り」
夏祭りにあわせ歩行者天国のなかテント市を開催する。地元・他地域の出店や料理ショーが行われ夏祭りを盛り上げる。
- ◇1月 「おたふく初笑い市(初売り)」
今年度、毎月1回の感謝セールにあわせ「温泉通り歳時記」(おたふく便り)が発刊される。温泉の由来、各商店のご案内や〇〇板長のおすすめ季節料理など盛りだくさんの情報を発信し、山代温泉通り商店街・商店を個性豊かにアピールする。

県振連セミナーのご案内 ～お客さまサービス・お店の活性化にお手伝い～

1 商店街経営セミナー

住民基本台帳ネットワークシステムが、憲法が保障するプライバシー権を侵害する、として係争中の裁判で、金沢、名古屋地裁で合憲・違憲の相反する判決があり注目されています。

日々お客さまと接することの多い商店街のみなさんにとって個人情報保護の大切さ、そのかわり、また商店にとってのメリットはどこにあるのか、などについて学んでみませんか。

- 日 時 平成17年7月28日(木) 午後4時から
- 会 場 金沢ニューグランドホテル
- テーマ 個人情報保護のキーポイントとセキュリティ対策
- 講 師 中台芳夫氏
NTT西日本ソリューション営業本部
セキュリティサービス推進室長
- 参加費 5000円(交流会費を含む)



2 商店街活性化セミナー

これからの地域商業・商店街・商店に必要な手法として限定品マーケティングが欠かせません。大量生産ー大量流通ー大量消費の大型店に対抗するため、商店の顔である商品が強烈かつ個性豊かな魅力あるものでなければなりません。限定生産ー限定流通ー限定消費が唯一できる商店街の商店の特性をマーケティングの観点から専門家による講演をとおし研修しませんか。

- 日 時 平成17年8月26日(金) 午後4時から
- 会 場 金沢スカイホテル
- テーマ 地域・商店街のブランド化戦略～限定品マーケティングのすすめ～
- 講 師 小林憲一郎氏
流通経済大学大学院物流情報学研究科教授
- 参加費 5000円(交流会費を含む)



両セミナーとも終了後、先生を囲んで交流会を開催いたします。膝を交え先生に日常の思いや疑問など生の声をぶつけ解決してみたいかがでしょうか。

多数のご参加お待ちしております。

お問い合わせ 石川県商店街振興組合連合会
電話 076-222-8779

石川県からのお知らせ

ポストモデル商店街支援事業

平成7年度に創設された活性化モデル商店街支援事業では、16地区35商店街にハード・ソフト両面から支援し、街の顔づくりとしての役割を果たしてきました。次の支援ステップとして「繁盛店や集客事業が商店街活性化の起爆剤となる。」との考え方から「店舗の魅力強化」といった個店の底上げを行い、強い店舗の集合体としての商店街の再活性化をはかります。

事業内容

- ①繁盛店創出を支援 店舗改装費の1/4(限度額150万円)を補助
単純な店舗改装を支援するのではなく、繁盛店を志向し、経営革新を目指す店舗について支援する。
- ②集客事業を支援 商店街内での集客事業の可能性調査や試行事業に係る調査費の1/3(限度額50万円)を補助
これまでのコミュニティ事業(ギャラリー、休憩所等)支援から商売の色濃い集客事業の立ち上げを支援する。

お問い合わせ 石川県商工労働部経営支援課
電話 076-225-1524

中小企業支援制度講座(説明員派遣事業)の開催

土・日曜日、夜間を含むおおむね10人以上集まる会議・会合に、商工労働部が行っている助成・融資制度等の支援制度の説明(1テーマあたり20~40分程度)をするため職員を派遣する事業です。

内容は、①商店街に対する支援について ②石川県産業革新戦略について ③産学連携支援について ④県制度金融について ⑤設備整備の支援制度について ⑥技術開発・新製品開発に関する支援について、など12のテーマとなっております。

お問い合わせ 石川県商工労働部産業政策課(企画管理グループ)
電話 076-225-1511

わが商店街(まち)のお宝物

近江町市場 走って宣伝(金沢市)

近江町市場商店街では県の活性化モデル商店街の認定を受けて取り組む「顔づくりソフト事業」の一環としてステッカーを作成した。振興組合員の配達車を即席の宣伝カーとして利用することに着目し、シール作成時では、販売促進委員会に議題として提出。色や金沢弁など意見百出し絞り込みに苦慮することもあったが、今回は感謝の気持ちを伝えるため「いつも、あんやと」に決定した。

郊外大型店の動向は目を見張るものがある。海側幹線や山側幹線の18年完成時には各種量販店が連立し、「市民の台所」近江町市場商店街自身も苦境に立たされることになることを十分知っている組合員は、率先してシールによる宣伝をかってでた。

近江町市場商店街自身も苦境に立たされることになることを十分知っている組合員は、率先してシールによる宣伝をかってでた。

効果の程はこれからであるが、ステッカーを見て、今日のおかずは近江町市場で買おうと思い出してもらえる効果が期待されており、この趣旨を理解して貼ってくださる組合員のこの心意気は近江町ならではのことである。事務局としては大変うれしい限りで、貴重なお宝でもある。

近江町市場商店街振興組合



～明日の堅町を担う若き感性～(金沢市)

組合員数140。店舗数200余店。週末ともなれば県内のみならず、隣県からの来街者で賑わう堅町商店街。その商店街を支える貴重な担い手が、奥出美朗部長以下23名の青年部です。

特に、10～20代の若者が来街者の8割を占める堅町にあつては、その責任は重く、また、やりがいもあります。今期からは、青年部長も親組合の理事会にオブザーバー出席し、青年部としての意見発表も行っていますが、適確に問題提起がなされているのは、部員の真摯な討議の結果と考えます。

今後も、郊外大型ショッピングセンターの更なる立地が予定されるなか、だれも

がゆっくりと憩い、街並みを楽しみながら買い物ができる商店街の構築は、重要なテーマの一つです。また、一方において、IT技術を駆使しての広報宣伝活動、魅力的なイベントの開催等においても、若き感性の発揮が期待されます。

商店街の生き残りは、改革の積み重ねにあります。立ち止まった時から衰退が始まります。堅町の将来を見据えて活動する若き仲間、いま、熱い期待が寄せられています。



奥出美朗青年部長



買物客で賑わう堅町商店街

堅町商店街振興組合